

大人と子どもといっしょになって自然と命のミュージカル

演脚
音振
チーフプロデューサー
制

出石塚克彦
本天城美枝
石塚克彦
樂付寺本建雄
劇団ダシス
スタッフ
ひらつか順子
作劇団制作部

瓶ケ森の河童

新生ふるきやら公演

MUSICAL

2012年12月24日(月・祝)

羽村市生涯学習センターゆとろぎ大ホール

開場15:30 開場16:00 全席自由

大人 前売2,500円 当日3,000円 こども(小学生~高校生) 前売・当日共 1,500円

●未就学児童の入場はできません。 ●保育あり(有料) 要予約12月16日まで(先着5名)

主催: 羽村市教育委員会 企画運営: ゆとろぎ協働事業運営市民の会

◆お問合せ◆ 042-570-0707

◆プレイガイド◆ 裏面に記載

新生ふるきやら ミュージカル 瓶ヶ森の河童

名古屋市に世界中の人たちが
集まって、生きものたちと人間が
いっしょに仲よく生きようと話し合い
ました。それをコップ10と言います。



このミュージカルは、人間と森の生き
ものたち、仲よく生きてゆく大切さ、
失つてしまつた自然の豊かさ、
ほんとうのしあわせのお話です。



ものがたり

天狗岳が、瓶ヶ森が、山の神が、
獣が、自然と人間の間にある越え
てはならない結界を踏みにじる人
間に、消えていくモノ達の激しい怒
りと哀しみを歌います。
人間と自然、大人と子ども、神
秘の不思議と現代、全てが切り離
されている今、2つの世界を行き來
する愛と戦いのミュージカル・ファ
ンタジーです。

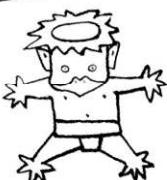
八竜川が瓶ヶ森から抜け出て、
十坂村へと向かうあたり、「川辺り」
と呼ばれるところに主人公のゲン
ゴロウ一家が住んでいます。ゲンゴ
ロウは八竜川のイワナやヤマメを
捕つて暮らす川魚漁師です。家族は、
都会から嫁に来たルミ子さんとい
う女房と、婆ツバ、息子の小六。
だれ一人姿を見たことのない天
狗がすむという天狗岳や瓶ヶ森の
奥深く、見たものは2度と戻るこ
とができるない河童のすむというケ
エラズ沼は、絶滅に追い込まれた
動物たち、カワウソ、幻の魚タキタ
ロウ、河童たちに残された最後の
砦です。

八竜川が瓶ヶ森から抜け出て、
十坂村へと向かうあたり、「川辺り」
と呼ばれるところに主人公のゲン
ゴロウ一家が住んでいます。ゲンゴ
ロウは八竜川のイワナやヤマメを
捕つて暮らす川魚漁師です。家族は、
都会から嫁に来たルミ子さんとい
う女房と、婆ツバ、息子の小六。
だれ一人姿を見たことのない天
狗がすむという天狗岳や瓶ヶ森の
奥深く、見たものは2度と戻るこ
とができるない河童のすむというケ
エラズ沼は、絶滅に追い込まれた
動物たち、カワウソ、幻の魚タキタ
ロウ、河童たちに残された最後の
砦です。

このミュージカルをつくったスタッフの仕事と受賞

1985年文化庁芸術祭賞、1987年日本舞台芸術家組合賞(石塚)、1989年日本
イベント大賞最優秀企画賞、1991年日本初の日米合作ミュージカル「LABOR
OF LOVE」を製作、日米両国でツアーパー、1992年パルセロナオリンピック芸術
祭演劇部門に招聘される、1994年第19回菊田一夫演劇賞(寺本) 1995年日本
舞台芸術家組合賞(天城) 1996年スポニチ文化芸術大賞グランプリ、2004年
国際コメ年の棚田イベントと国際会議を企画、成功させる。2005年「愛・地球
博」の万博会場にて2作品を創作、特設劇場で上演。etc

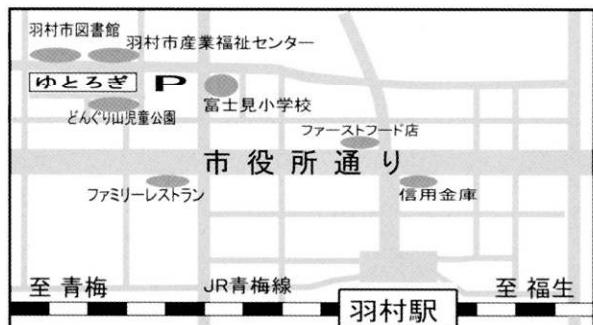
大人も子どもも一緒になって、
河童の世界をのぞいて見よう。
トキメキ不思議と出会えるかも!



プレイガイド

- ・ゆとろぎチケットカウンター(月曜休館)
- ・羽村市スポーツセンター(月曜休館)
- ・西多摩新聞社チケットサービス(土日休)
- ・マルフジ(青梅、羽村、福生市内) 7店舗

羽村市生涯学習センターゆとろぎ案内図



羽村駅より徒歩約7分 ※駐車場の収容台数には限りがありますので、ご
来場の際には公共交通機関をご利用ください。